

## 京都大学人文科学研究所共同研究最終報告書（終了）

### 1. 研究課題

(和文) 元代雑劇の研究

(英文) A study on Zaju drama in Yuan dynasty

### 2. 研究代表者

(氏名) 金文京

### 3. 研究期間

平成 23年 4月 から 平成 26年3月 まで (3年 月間)

### 4. 研究目的 (400字程度)

中国元代に流行した雑劇（いわゆる元曲）は、中国におけるもっとも早い本格的な演劇であり、また脚本が現存するもっとも早い戯曲文学でもある。ただしその大部分は、次の明代になって刊行または書写されたものであり、後代の改変を多くこうむっている。元代当時のもとの姿を伝えるのは、『元刊雑劇三十種』に収める三十の作品があるのみであるが、このテキストは誤字脱字が多いうえ、台詞がほとんどなく、歌詞のみを記しているため、難読をもって知られている。そのためこれまで中国で三種類の校注本が出版されているが、不明の箇所はなお多い。本研究班はこの点に鑑み、『元刊雑劇三十種』を精読することによって、綿密な校注および日本語訳を作成することを目的とする。

### 5. 研究成果の概要 (400字程度)

三年間で『元刊雑劇三十種』のうち、「張千替殺妻」、「焚児救母」、「范張鶏黍」、「看錢奴」雑劇の四つの作品を講読し、訳注を作成した。そのほか班員がそれぞれ関連論文を執筆、学術雑誌などに公表した。また関連の主題で公開講演会を一回実施した（下記参照）。

### 6. 本研究課題に関連した公表実績（出版、公開シンポジウム、学会分科会、電子媒体など）

平成25年9月26日（木）から四回にわけ、人文研アカデミーにおいて公開講座「中国古典演劇の世界」を開催した。講演者と題目は下記のとおりである。

9月26日（木） 赤松紀彦「蜀山人が見た中国演劇」

10月3日（木） 小松 謙「日本演劇と中国演劇」

10月10日（木） 松浦恒雄「20世紀中国演劇」

10月17日（木） 金 文京「中国古典劇の世界」

#### 7. 研究成果公表計画および今後の展開等

講読した作品のうち、「范張鷄黍」雑劇の訳注を、解説などを付して、平成26年中に刊行する予定である。また研究会自体は今後も私的会合として継続して開催するつもりである。